

製品概要

LOCTITE® 383™は以下の特長を有する製品です。

分類	アクリル
主成分	変性アクリレート
外観（液状時）	灰色 ペースト ^{LMS}
形態	一液性ー混合不要
粘度	高い
硬化機構	アクチベーター
利点	室温硬化
用途	面接着
強度	高強度

LOCTITE® 383™は、発熱体とヒートシンクとの接着用に開発された熱伝導性接着剤です。高い熱伝導性は、熱に敏感な部品に対して優れた放熱性を提供します。また、適度な強度はフィールドやサービス時での部品の取り外しを可能にします。383™の高い強度は、電子機器の組立てに十分な強さを与えます。高電圧部品に使用する際は、最大電圧500ボルト以下で使用して下さい。主な用途は、変圧器やトランジスター、また、他の発熱電子部品と基板アッセンブリー又はヒートシンクとの接着です。

液状時の代表的特性

比重 @ 25°C	1.5
引火点	MSDS 参照
粘度、ブルックフィールド - HBT, 25 °C, mPa·s (cP):	
スピンドル TE, 2.5 rpm, ヘリパス	500,000~1,100,000 ^{LMS}

硬化後の一般特性

硬化物特性:

熱膨張係数, ISO 11359-2, K ⁻¹	71×10 ⁻⁶
熱伝導係数, ISO 8302, W/(m·K)	0.602
伸び率（破断時）, ISO 527-3 %	7.8
引張強度（破断時）, ISO 527-3 N/mm ²	16
ヤング率 N/mm ²	1,600

電気特性:

体積抵抗率, IEC 60093, Ω·cm	5.2×10 ¹¹
表面抵抗率, IEC 60093, Ω	8.6×10 ¹³
絶縁破壊強さ, IEC 60243-1, kV/mm	1.5
誘電率/ 誘電損失, IEC 60250:	
100 Hz	14.92 / 0.05
1 kHz	14.26 / 0.03
1 MHz	12.34 / 0.06

硬化後の一般性能

接着特性:

22°Cで 24 時間硬化、アクチベーター7387™片面塗布

引張剪断強度, ISO4587:

鋼:	
隙間 0.05mm	N/mm ² ≥ 12.4 ^{LMS}
隙間 0.5mm	N/mm ² ≥ 3.8 ^{LMS}

一般的な耐環境性

22°Cで 72 時間硬化、アクチベーター7387™片面塗布
引張剪断強度, ISO4587:
鋼

耐薬品／耐溶剤性

下記の条件で曝露後、22°Cにて測定

		初期強度保持率%
環境	°C	720h
空気中	87	150
水	87	50
フロン TF	87	70

耐ヒートサイクル性

アルミとガラスエポキシラップシユアーを使用してアクチベーター7387™を片面処理し、72時間硬化させたものを15～100°Cのヒートサイクル（昇降温時間：30分）にて試験。1,000時間後も強度の低下は見られませんでした。

取り扱い上の注意

本製品は純酸素又は高濃度の酸素システムでの使用は避けて下さい。また、塩素や他の強酸化剤物質のシール剤として決して使用しないで下さい。

本製品の安全な取り扱いに関する情報は、弊社製品安全性データシート(MSDS)をご参照下さい。

使用法および注意点

1. 最良の接着性を得るために、接着面の油分、汚れ等を除去し、きれいにして下さい。
2. 専用のアプリケータを使用し接着部にアクチベータを塗布して下さい
3. 溶剤が蒸発した後に、有効成分が湿った状態で残ります。塗布後の有効時間は2時間です。表面の汚染物質は接着前に取り除いて下さい。
4. アクチベータを処理していない面に接着剤を塗布して下さい。
5. しっかりと固定し、次の作業を行う前に固着するまで放置（約5分）して下さい。完全に硬化するには4～24時間必要です。
6. 部品やヒートシンクに塗布する接着剤は、接着部分を充分満たし、小さなフィレットが形成される程度の量を塗布してください。
7. 接着剤の塗布の際には、接着部に混入する気泡を最小限にする必要があります。
8. 本製品で理想的な接着を得るためには、接着面へ正確に塗布することが必要です。弊社ではアプリケーションに合った塗布装置の選定及び導入のお手伝いを致します。

Loctite 製品規格 LMS

本製品のLMSは1995年12月07日に発行されました。
パッチの試験報告書は LMS と表示された特性が記載されます。
LMS 試験レポートは、実際に製品を使用するお客さまに適切
であると考えられた QC テスト項目から選定した項目を記載し
ています。さらに、製品品質と品質の安定性を保証するために、
総合的なコントロールを行っています。
特別な顧客仕様要求事項はヘンケル品質保証部にて行っていま
す。

長期保管

未開封のまま、乾燥した場所で保管して下さい。容器のラベル
に保管に関する記載がありますので、こちらをご参考にして下
さい。

最適な保管温度：2 ～ 8℃。

**2℃以下又は 8℃以上で保管すると製品特性に影響を与える恐
れがあります。**

容器より出された製品は使用時に既に汚染されている可能性が
あります。一度使用したものは容器に戻さないで下さい。又、
既述の条件に適さないご使用及び保管された製品につきましては
責任を負いかねます。本製品に関するお問合せは弊社までお
問い合わせ下さい。

備考

ここに記載されているデータは情報の提供のみを目的にしたも
ので、その信頼性は高いものと考えます。当社は、他の者が当
社の管理の及ばない独自の方法で得た結果に対する責任は負い
かねます。ここに記載された生産方法が使用される方の目的に
適合するか否かの判断や、取り扱い並びに使用時に起因する危険
から人や物を保護する為に有効と思われる予防対策の採否の決
定は、使用される方の責任に於いて行ってください。**記載のデ
ータは規格値ではなく記載の適用例全てに対応できるとは限
りません。**本製品を使用し製造された製品に対しての保証は
致しません。又、本製品を使用し製造された製品の破損、信
頼性、利益の損失等についての責任は負いかねます。ここに
述べられた様々なプロセス又は性質はHenkelCorporationの特
許使用のライセンスを与えた事を意味するものではありません。
本製品の正式採用を検討される前に、この資料を手引きとして
試験的に使用される事をお薦めします。本製品は一つ以上の米
国並びに米国以外の国での特許並びに出願特許により保護され
ています。

商標使用について

特別な記載がない限り、この書類に記載された全ての商標権
は米国また他国のヘンケル社に帰属します。®マークは米国特
許商標局を示します。